

私が日本に学校を作るなら

高校というのは様々なことを経験する場所であり、時間だ。私は、高校ではあらゆることを経験し、触れることが大切だと思っている。そのような経験によって、自分の好きなこと、嫌いなこと、得意なこと、または不得意なことが分かる。それによって自分が将来何がしたいのかが固まるのではないだろうか。

さて、高校でなるべく沢山のことを経験するとなると、今の日本の学校形態はいささか不十分に思える。受験で決まる学校のレベル、数個しかないコース、一年間代わり映えのしないクラスメイト。勿論、日本の学校にはその良さもある。だが、私が重要だと思う「様々な事象に触れる」ことに関しては、私が現在通うようなアメリカの学校のほうが優れているのではないかと思う。

まず、私が良いと思ったアメリカの学校のシステムは、「クラス選択の自由」だ。日本の高校とは違い、アメリカの高校は個々が自由にすべてのクラスを選択することができる。例えば、基礎の四科目、国語、数学、理科、社会はそれぞれハイレベルのクラスと普通レベルのクラスが選べる。生徒は、自身の得意、不得意でクラスのレベルを選択できるのだ。国語は得意だが、数学は苦手だ、という人も自身に合わせたクラス選びをすることができる。日本のコース選択であれば、この人物は自分の数学のレベルに合わせ、普通コースを選べば国語の簡単さに悩み、逆に国語を学びたくてハイレベルのコースを選べば数学の難しさに苦しむ事となるだろう。

更に、アメリカには驚くほど広範囲の選択科目がある。数例を挙げるとすると、経済、料理、ニュース作りが学べるクラスだ。美術も陶芸、彫刻、絵画、などと細分化されている。しかも、このクラスたちは基本的には半年、または一年が期間のクラスだ。つまり、高校三年間で様々なクラスを取ることができる。これは私が言う、経験を稼ぐことには何よりも良いのではないだろうか。

更に、このようなクラス選択の形式だと、クラスメイトも各クラスで変わるようになる。先輩や後輩と同じ授業を受けることもある。これもまた一つの「経験」となり、色々な人、価値観に触れることが後の人生に役立つこともあるだろう。

このように、クラス選択の範囲を広げ、個々の自由に任せることで様々な経験を得ることができる。私が日本にあったら良いと思う学校は、このような学校である。